【日経ＳＴＯＣＫリーグ】

レポートフォーマット

《記入用》

**＜レポートフォーマットの使い方＞**

〇本フォーマットは、**「基礎学習」と「レポート書式」で構成**されています。

〇**「基礎学習」は、各チーム必須**のパートです。内容は別添の学習ガイドブックに対応しており、経済・株式投資の基礎知識を確認・向上させることで、より発展的なチーム内の議論につなげることをねらいとしています。

○**「レポート書式」の使用は任意**です。書式に沿って各チームで学習を進め、その内容や結果を直接このフォーマットに記入していくことで、レポートを完成させるように構成されています。よりオリジナリティーを発揮してレポート作成を行いたいチームは、この書式を使用しなくても結構です。

**○項目ごとに設けてある記入欄の大きさは、あくまで仮のものです。記入の仕方や分量に合わせて、自由にスペースを調整してください。図表･写真等を入れていただいても結構です。**

**○提出するレポートには、この表紙ページは付けないでください。**

**○応募要項の「レポート提出要項」に記載のある上限枚数（「基礎学習」部分を含めＡ４用紙３０枚以内）を必ず守ってレポートを作成してください。枚数をオーバーしたレポートは審査の対象外となります。**

〇応募要項の「レポート作成Ｑ＆Ａ」に、前回寄せられた主な質問に対する回答を記載してありますので、参考にしてください。

レポート表紙

このページはレポートの表紙となります。

以下の項目を入れて、自由に作成してください。

体裁･デザインは自由です。

〇タイトル

〇基本情報（応募区分、チームID、チーム名、学校名･

　学年、リーダー名、メンバー名、指導教員）

※上記文言は削除した上記入願います。

【基礎学習（必須）】

**＊別添の学習ガイドブックをチーム全員がしっかり読んだ上で、必ず、すべての設問に解答してください**

１　私たちが日常生活の中で消費している商品は、**（ ［1］ ）**と**（ ［2］ ）**の２種類に大別される。

２　下の図は、一国の経済を構成する経済主体間の主な関係を示している。空欄の３つの

**［3］**

各主体は何か？

賃金・地代・配当・財・サービス等

社会保障・公共サービス等

税金等

労働力・資本・土地・代金等

税金・財・サービス等

**［5］**

**［4］**

公共サービス・補助金・代金等

３　財やサービスの取引（交換）の手段として使われている貨幣（通貨）に関する次の各文のうち、誤っているものは？　**（ ［6］ ）**

　　ａ．貨幣には、商品と交換する際に誰もが受取を拒否しないという共通の価値がある。

ｂ．各国の通貨の価値は、現在でも一定量の金（きん）を尺度にして決められている。

ｃ．通貨には、紙幣や硬貨からなる現金通貨と、当座預金や普通預金などの預金通貨

の２種類がある。

　　ｄ．現金通貨は、強制的な通用力が法的に認められていることから法定通貨（法貨）

と呼ばれる。

４　現在の日本の年間出生数は約100万人で、第二次世界大戦直後と比べると約**（ ［7］ ）**割、30年前との比較でも約**（ ［8］ ）**割まで低下している。

５　今後、少子高齢化が進むことによる日本の社会や経済への影響に関する次の各文のうち、誤っているものは？　**（ ［9］ ）**

　　ａ．日本の人口は2008年をピークに減少傾向が続いている。

ｂ．少子化や人口流出によって、将来、消滅する自治体が出てくる可能性もある。

　　ｃ．少子高齢化による商品市場へのマイナスの影響は全ての分野に共通して現れる。

　　ｄ．生産年齢人口の減少により、公的年金や医療保険の財政はますます厳しくなる。

６ グローバル化の進展に関する次の各文のうち、誤っているものは？　**（ ［10］ ）**

 　ａ．あらゆる分野で多くの企業が世界規模で事業展開を行っている。

　　 ｂ．先進国企業による発展途上国への海外投資では、途上国側のメリットは雇用の創出のみで限定的である。

　　 ｃ．国内にある生産拠点の海外移転により地域経済が衰退する「空洞化」の問題が懸

念されている。

　　 ｄ．グローバル化の進展は経済だけにとどまらず、文化の面でも大きなインパクトをもたらす。

７ 近年は、利害が一致しやすい２つ以上の国や地域間で協定を締結する事例が増えている。具体的には、自由貿易を促進する**（ ［11］ ）**と、「環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）のようにより幅広い分野での協力を規定する**（ ［12］ ）**がある。

８ グローバルな対応が求められているグローバルな課題（グローバル・イシュー）として適切でないものは？　**（ ［13］ ）**

ａ．地球環境問題　　ｂ．人口問題　　ｃ．感染症対策　　ｄ．国際経済格差と貧困

ｅ．核廃絶　　　　　ｆ．ワーク・ライフ・バランス　　　ｇ．すべて適切

９ ＧＤＰ（国内総生産）に関する次の各文のうち、誤っているものは？　**（ ［14］ ）**

　　ａ．ＧＤＰとは、一定期間に国民全体として生産したモノやサービスの付加価値の合

計額をさす。

　　ｂ．ＧＤＰとは、一定期間に国内で生産されたモノやサービスの付加価値の合計額を

さす。

ｃ．ＧＤＰには名目ＧＤＰと実質ＧＤＰとがあり、その違いは物価の変動分を考慮するかどうかにある。

ｄ．近年は実質ＧＤＰが名目ＧＤＰを上回っており、これは日本がデフレ状態にあることを示している。

10 需要・供給の法則のポイントは、**（ ［15］ ）**が消費者・生産者の行動に対し**（ ［16］ ）**として機能することである。

11 直接金融の例として適切でないものは？　**（ ［17］ ）**

ａ．社債　ｂ．公債　ｃ．株式　ｄ．銀行預金　ｅ．投資信託　ｆ．すべて適切

12　株式を所有することで得られる金銭的な利益には、インカムゲインと呼ばれる**（ ［18］ ）**とキャピタルゲインと呼ばれる**（ ［19］ ）**とがある。

13 株式投資などの際に考慮すべきリスクとして適切でないものは？　**（ ［20］ ）**

ａ．価格変動　　　ｂ．金利変動　　　ｃ．為替変動　　　ｄ．インフレ

ｅ．自然災害　　　ｆ．すべて適切

■要　旨

|  |
| --- |
|  |

■目　次

|  |
| --- |
|  |

**【レポート書式（任意）】**

**＊この書式を必ず使用する必要はありません。**

**１．暮らしや社会の変化と経済との関係**

**【１－１】日常生活や社会全体をめぐって注目される最近の動きや、私たちが直面している様々な社会的課題の中から、自分たちが特に重要と考える事項をいくつか選び、その理由と経済や企業活動への影響をまとめてみよう。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課題 | 選んだ理由 | 経済や企業活動への影響 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**２．投資テーマの決定**

**【２－１】１－１でまとめたことなどを基にしながら、「今後成長が見込まれる分野」または「投資してみたい企業」について考え、それに関連する記事や情報をいくつか選び出してみよう。**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 分野・企業 | 日付 | 出所 | 内容（概要） | 選んだ理由 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

**【２－２】投資してみたいテーマを選び、その理由をまとめよう。**

|  |
| --- |
| ＜投資テーマ＞ |
| ＜テーマ選定理由＞ |

**３．ポートフォリオの作成**

**【３－１】決定した投資テーマに基づいて投資する企業（銘柄）の選び方（スクリーニング）を決め、その手順に沿って最終的な投資先企業を選ぼう。**

|  |
| --- |
| ＜第１スクリーニング＞ |
| ＜第２スクリーニング＞ |
| ＜第〇スクリーニング＞ |

**【３－２】３－１のスクリーニングによって決定した具体的な投資先企業を以下の表にまとめよう（500万円分の仮想資金で10銘柄以上、最大20銘柄）。そして、組み上げたポートフォリオ（ファンド）に名前を付けてみよう。**

［ポートフォリオ（ファンド）名］

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 証券コード | 企業(銘柄)名 | 購入金額(円) | 構成比（％） |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

**【３－３】ポートフォリオを構成する各銘柄の値動きをチェックし、気付いたことをまとめよう。**

|  |
| --- |
|  |

**４．投資家へのアピール**

**【４－１】自分たちが作成したポートフォリオ（ファンド）への賛同者を増やすために、投資家向けにアピールしよう（大学生は、ここにポートフォリオ理論に基づいた考察を記入しましょう）。**

|  |
| --- |
|  |

**５．日経STOCKリーグを通して学んだこと**

**【５－１】日経STOCKリーグを通して学んだことをまとめよう。**

|  |
| --- |
|  |

**６．参考文献**

以　上